

山口市立小鯖小学校児童が竹を学ぶ！

令和6年10月9日(水曜日)、山口地区林業研究グループ連絡協議会の依頼を受けて、「竹林ボランティア山口」の会員15名が山口市立小鯖小学校3年生児童19名を対象に森林体験学習を実施しました。

この体験学習は、竹の伐採作業などを通じて竹の生態や利用方法を学び、森林の大切さや林業について理解を深めてもらうことを目的に、毎年実施しているものです。

児童たちは、山口地区林業研究グループ連絡協議会から竹の特徴や竹の種類などについて説明を受けた後、学校に隣接する竹林で5班に分かれて竹の伐採に挑戦しました。竹林ボランティア山口の会員から竹の伐り方や、ノコギリの使い方の指導を受けながら、慣れないノコギリの扱いに悪戦苦闘しながらも熱心に竹の伐採に取り組みました。

続いて、児童たちは体育館に移動して、竹林ボランティア山口の会員から竹と人の暮らしについての説明を受けた後、竹林ボランティア山口の会員が事前に製作した竹とんぼを1つずつ受け取り、歓声をあげながら飛ばしていました。

この体験学習を通して、児童たちは竹について理解と関心を深めた様子でした。



竹の伐採



竹とんぼ飛ばし